

## 第5章 各自然公園の特徴と目指す姿

## 第5章 各自然公園の特徴と目指す姿

各自然公園の特徴を活かしてそれぞれの公園が目指していく姿について、「Ⅰ 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園」、「Ⅱ 人と自然との関係をとりもつ自然公園」、「Ⅲ 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園」の3つの目標に沿って示していきます。

### 1 秩父多摩甲斐国立公園

指定年月日：昭和 25 年 7 月 10 日  
（平成 12 年 8 月 10 日名称変更）

面積：35,298 ha（東京都内）

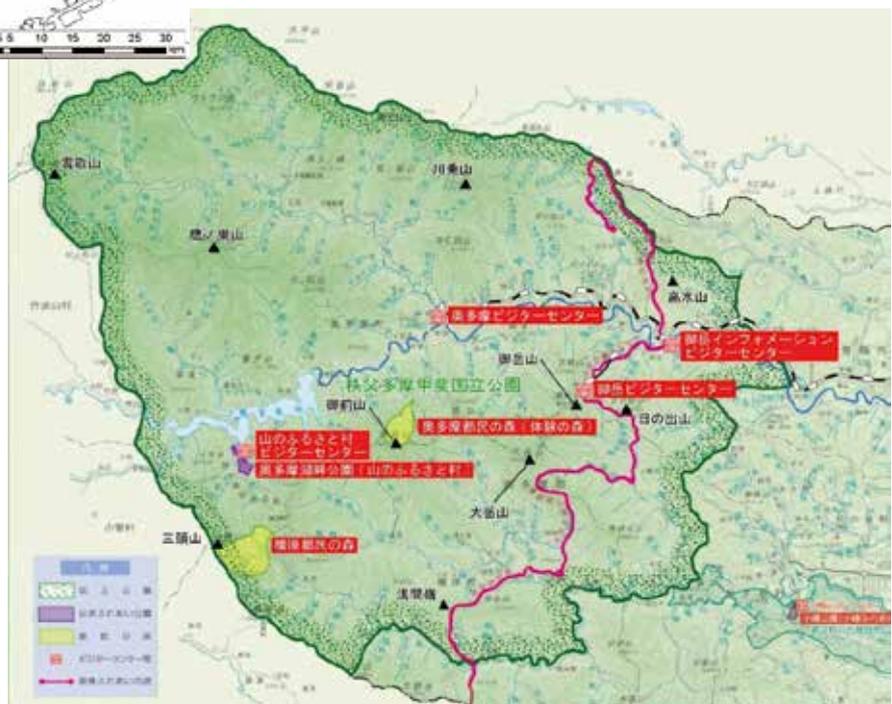
概要：雲取山、川苔山、御岳山、大岳山、御前山、三頭山などの山々、多摩川や秋川の溪谷や清流、小河内ダムによってできた奥多摩湖、鍾乳洞、多様な植物や動物、郷土景観など多彩な魅力を持った自然公園です。



≪檜原村 神戸岩≫



≪自然公園位置図≫



## 特徴

### 【自然資源】

- 性質の異なる様々な岩石で形成され、山岳・渓谷の変化に富んだ豊かな景観を有する。
- 隣接県エリアも含め関東・本州中部の代表的河川の源流域となっており、都内エリアにも水源林が広がっている。
- 都内最高峰である雲取山（2017.1m）やその周辺には亜高山性針葉樹林やブナ林が広がっている。
- 針広混交林の自然林の分布のほか、多摩川や秋川等の山麓部の溪流や集落地帯は、ケヤキ、クリ、イヌブナ等の広葉樹林と、スギ、ヒノキ等の整然とした人工林で占められている。
- 主稜<sup>りょう</sup>山地全般にわたってツキノワグマ、ニホンジカ等の中・大型哺乳類が見られ、クマタカ等の猛禽<sup>きん</sup>類やホシガラス等の亜高山性の鳥類が生息している。
- 溪流にはイワナ、ヤマメに代表される魚類も多く、山麓部ではアユ等が計画的に放流されている。
- 清流が多いことからサンショウウオ類やナガレタゴガエル等も生息している。

### 【人文資源】

- 山々の斜面に居を構える集落等の文化的景観が見られる。
- 武蔵御嶽神社等の歴史ある寺社が見られる。
- 獅子舞等の伝統的な郷土芸能が継承されている。
- 後背地の自然環境により育まれた水を資源とした酒蔵などの産業も見られる。

### 【その他】

- 土地所有は私有地が多く、地種区分は半分以上が普通地域である。
- エリア内は全体に高齢化傾向にある。
- 温泉やキャンプ場、山のふるさと村、御岳ビジットセンター等の施設が点在する。

### 【課題】

- 亜高山帯の針葉樹林等の自然林から山麓部の里山的環境につながる、豊かな自然環境の保全が望まれる。
- 公園内目的地までのアクセスが限られ、繁忙期は交通渋滞等が見られる。
- キャニオニングや森林セラピーをはじめとした利用の多様化が見られるとともに、登山事故等も増加している。
- シカによる食害等の獣害や、間伐等林業活動が停滞した森林の荒廃が懸念されている。

#### クマタカ



都内では西多摩の山地の樹林に生息しています。中型の哺乳類や鳥類、は虫類を食べます。絶滅危惧ⅠA類に指定されています。

#### 武蔵御嶽神社



滝に打たれる厳しい滝行をはじめとした、精神修養のための修行を1泊2日で体験できます。

#### 山のふるさと村



「山ふる」の愛称で親しまれ、奥多摩の自然に親しみながら、動植物や歴史について学んだり、自然体験プログラムや、キャンプ等を楽しめます。

目 指 す 姿	<b>I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四季折々のブナ原生林や変化に富んだ溪谷景観・鍾乳洞など、このエリアの特徴的で豊かな自然環境が保全されている</li> <li>・ 多様な主体と連携して自然環境が保全されている</li> </ul>
	<b>II 人と自然との関係をとりもつ自然公園</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然と関係の深い集落や産業・文化が保全され、育成・活用されている</li> <li>・ 人の営みと自然の関係性に対する理解が深まっている</li> <li>・ 四季折々、滞在型の利用が活発に行われている</li> </ul>
	<b>III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコツーリズムや森林セラピー等による自然の価値や文化・歴史の普及啓発と人々の交流が進んでいる</li> <li>・ 多様な主体と連携し、安全で安心な利用サービスが提供されている</li> <li>・ 国内外からの多くの人々に利用されている</li> </ul>



ブナ林



武蔵御嶽神社



酒造

《豊かな自然環境と関係の深い文化や産業の保全・育成・活用》

## 2 富士箱根伊豆国立公園

指定年月日：昭和 11 年 2 月 1 日  
 （昭和 39 年 7 月 7 日伊豆七島地域を追加）

面積：27,499 ha（東京都内）

概要：大島から八丈島まで 200 km にわたって連なる島々からなる自然公園です。火山由来の自然環境・景観を中心として、椿やシイなどの常緑樹、島特有の鳥類、黒潮の影響を受ける海洋生物、さらに温泉など島ごとに見所があります。大島は日本ジオパークにも認定されています。

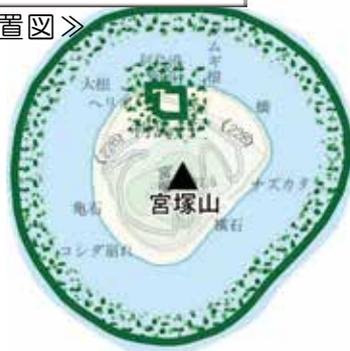


《八丈町 八丈富士》

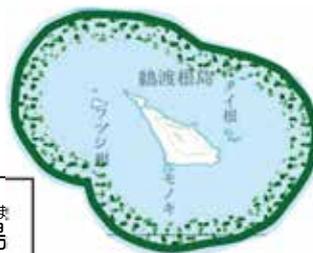


《自然公園位置図》

利島



うとねじま  
鵜渡根島



式根島



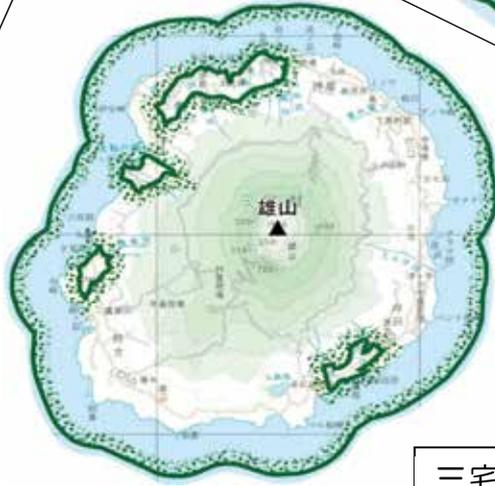
新島



神津島



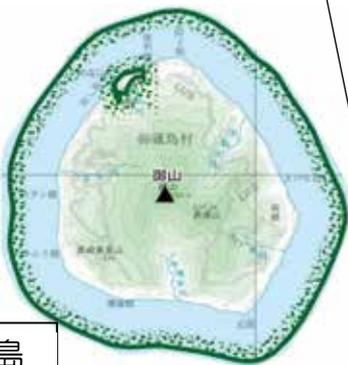
三宅島



八丈島



御蔵島



凡例	
	国立公園
	自然ふれあい公園
	ビジターセンター等

## 特徴

### 【自然資源】

- 約 200 万年前から始まった折々の火山活動である水深 2,000m 前後の深海からの噴火活動に由来する。
- 標高 500m～800m の島々が多く、爆裂火口湖、砂漠などの火山地形が見られる。
- 火山地形のほかにも海食崖や美しい砂浜など各島に特徴的な地形や景観、生態系、豊かな生物相が見られる。
- 常緑広葉樹林帯に位置し、火山島であることから固有あるいは準固有の種や変種が多く存在するほか、噴火による裸地形成からの植生の遷移の諸段階が見られる。
- 火山活動等により、哺乳類、両生類、は虫類の種類数は少ない。
- 鳥類は、渡り鳥であるシギ・チドリ類やカモ類等は本土と共通種が多いが、陸鳥類ではアカッコやイイジマムシクイ等の固有種をはじめ、多様な種が見られる。
- 鳥類以外の希少種として、オカダトカゲが生息している。

### 火山(三宅島)



火口や地層、溶岩大地など、至る所に噴火の歴史を見ることができ、遊歩道により溶岩の原っぱを歩くことができます。

### 【人文資源】

- 寺社をはじめ、各島に特徴的な伝統、人文資源が見られる。
- 海産資源や椿油等を活用した食品・特産品等各島に特徴的な産業が見られる。



椿油

椿油の成分の80%以上は「オレイン酸」という脂肪酸で、髪や肌に良いとされています。

### 【その他】

- 土地所有は約半分が私有地であり、地種区分は大部分が特別地域である。
- 利用者数の動向は島により差はあるが、横ばいから減少傾向にある。
- アクセスは気象状況に大きく左右される。
- 自然体験型の観光需要（ドルフィンスイム、ダイビング、トレッキング、バードウォッチング、スターウォッチング等）が高い。

### 【課題】

- 外来種の生息拡大や公園利用者による生態系への影響が懸念されている。
- 火山、台風、津波等の自然の脅威との共存が求められる。

### ドルフィンスイム



豊かな自然環境を活かして、ドルフィンスイム等の自然体験や、星空観察等が楽しめます。

I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・ 各島固有の生態系及び多様な自然景観が保全されている
- ・ 多様な主体と連携して自然環境が保全されている

II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・ 各島の自然と結びついた文化・歴史の普及啓発と人々の交流の促進されている
- ・ 多様な主体と連携した利用サービスが提供されている

III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ 各々特徴的な島である島しょ間の回遊性の向上等により活発な利用が進んでいる
- ・ エコツーリズム等により豊かな自然、海の魅力が積極的に活用されている
- ・ 自然災害への対策により、安全性が向上している
- ・ 国内外からの多くの人々に利用されている



大島 三原山



三宅島 ひょうたん山

《豊かな海洋等の自然の保全とともに、  
火山等の自然の脅威との共存が求められる》

### 3 小笠原国立公園

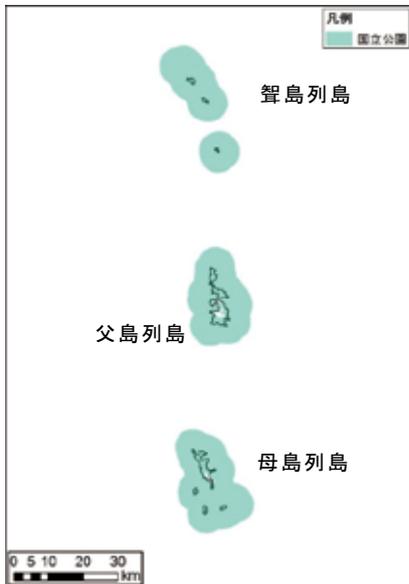
指定年月日：昭和 47 年 10 月 16 日

面積：6,629 ha（陸域のみ）

概要：都心から約 1,000km 南、人が住む父島、母島と無人島を合わせて、30 余りの島々からなる亜熱帯の島々が小笠原諸島です。固有の植物や動物が多くみられ、世界自然遺産に登録されており、高い知名度を誇ります。南島上陸やホエールウォッチングなど多様なエコツアーが行われています。



《小笠原 南島》



※この他、北硫黄島と西之島を含む

《自然公園位置図》



## 特徴

### 【自然資源】

- 亜熱帯性の海洋島の島しょ景観、独特の海岸地形、海底火山活動による枕状溶岩の露頭や岩脈が見られる。
- 通常は深海底にのみ見られる無人岩が世界でも大規模に露出し、良い保存状態で残され観察できる世界で唯一の場所となっている。
- 大陸と陸続きになったことのない海洋島で、固有種が多く、特に維管束植物の40%余りが固有種と考えられ、独自の生態系を構成している。
- 小笠原諸島の植物の起源は、東南アジア系、ポリネシア系、日本本土由来のもの多様であり、自然林は乾性低木林、湿性高木林等やモクタチバナやヒメツバキの自然林で代表される。
- 動物種についても、オガサワラオオコウモリ、オガサワラノスリ、メグロ等の固有種や固有亜種が数多く生息し、特に陸産貝類では90%以上が固有種で、小笠原諸島の陸上の生態系を特徴付けている。
- ザトウクジラやマッコウクジラ等の海洋哺乳類が生息し、サンゴ礁等の多彩な海中景観が見られる。
- アオウミガメは、日本最大、世界でも有数の繁殖地となっている。

### 【人文資源】

- 多くの軍施設の遺構・戦跡が山中や海岸に点在している。
- 南洋踊りなどの伝統的な文化が見られる。

### 【その他】

- 2011年（平成23年）6月に世界自然遺産に登録され、高い知名度を有する。
- 土地所有は国有地が大部分を占め、地種区分はほぼ全域が特別地域でその大部分が特別保護地区となっている。
- 自然体験型の観光（ダイビング、トレッキング等）に加え、戦跡等の歴史・文化のツアーによる利用も見られる。
- 父島には小笠原ビジターセンターがある。

### 【課題】

- 独自の生態系や希少種に対する外来種の被害、人為による更なる影響拡大、観光利用等による影響負荷が懸念されている。

#### 小港海岸(父島)



父島で一番大きなビーチで、遠浅ですが、湾の左右には岩場もありシュノーケリングを楽しむこともできます。また、枕状溶岩の観察もできます。

#### メグロ(母島)



小笠原諸島の母島とその属島に生息する固有種です。目の周りに逆三角形の黒い模様があります。

#### 小笠原ビジターセンター(父島)



小笠原諸島が海洋島として誕生してからの歴史や美しい海、珍しい動植物やクジラ・イルカ情報、貴重な自然の保護活動やエコツーリズムの取組などを紹介しています。

I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・ 多様な主体の連携による順応的管理により、外来種対策が実施され、固有種が保護されている
- ・ 世界に誇る独自の生態系が保全・再生されている

II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・ 小笠原の自然と結びついた文化や歴史、世界遺産の価値の保全と両立した産業が暮らしに根付いている

III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ 小笠原の自然の世界的価値と保全の必要性が深く理解され、新たな外来種の侵入防止など環境保全の取組について多様な主体の協力が得られている
- ・ エコツーリズム等により適正な利用がなされている
- ・ 自然の価値や歴史についての情報発信が進んでいる



ザトウクジラ



母島

《小笠原独自の生態系の保全》

#### 4 明治の森高尾国定公園

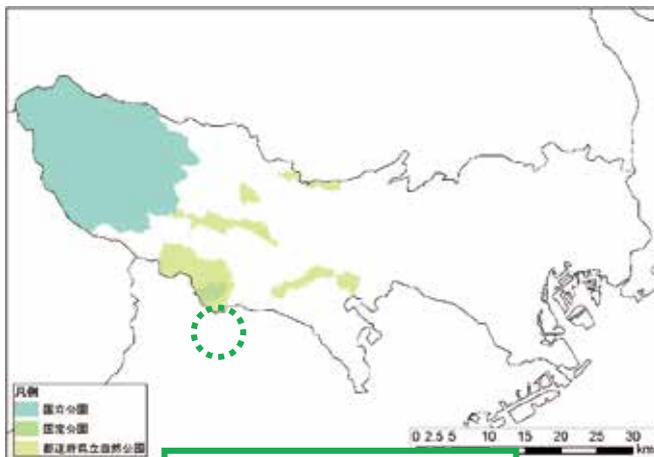
指定年月日：昭和 42 年 12 月 11 日

面積：770 ha

概要：国定公園としては小規模ですが、古くから薬王院の社寺林、御料林として森林が守られてきたため自然林が残されており多様な生物が生息しています。標高 599m の高尾山を中心に、動植物や眺望が楽しめる 6 つの自然研究路など多様な歩道が用意されています。



《高尾山 山頂》



明治の森高尾国定公園

《自然公園位置図》



《タカオスミレ》



## 特徴

### 【自然資源】

- 低山帯ながら起伏に富んだ山々・水系による多種多様な景観が見られる。
- 高尾山は暖温帯と冷温帯の境目にあり、モミ林やカシ類を主体とする常緑樹林やブナ類を主体とする落葉樹林、スギ、ヒノキ等の人工林といった林相の相違が見られる。
- 哺乳類ではニホンリス、ムササビ、鳥類ではキビタキ、ヤマガラ、爬虫類ではマムシ、シマヘビ、両生類ではニホンアカガエル、タゴガエル、昆虫類ではタマムシ、オオムラサキ等、多様な生物環境の観察ができる。
- 都心・山地方面の眺望が良く、高尾山の山頂における富士山の眺望は「関東の富士見百景」の一つにも選ばれており、冬至の前後には「ダイヤモンド富士」が望める。
- 土地所有は国有地が多く、地種区分は全域が特別地域である。

ダイヤモンド富士



高尾山では日没時、富士山のちょうど頂上部分に太陽が沈む瞬間にダイヤモンドのように輝く現象を「ダイヤモンド富士」と呼びます。

### 【人文資源】

- 山岳信仰との関係ある歴史的・文化的な風致・景観（高尾山薬王院、スギの大径木等）を有し、東京都指定天然記念物や東京都指定有形文化財が数多く現存する。

吊り橋



高尾山は、四季折々の美しい自然や、変化に富んだ7つのハイキングコースがあり、毎年多くの人々が訪れる観光名所となっています。

### 【その他】

- 交通アクセスが良好である。
- 遠足等、「自然体験の入口」としての利用も多い。
- ミシュラングリーンガイド三ツ星獲得以降、外国人も多数来訪している。
- トレイルランニング等、利用形態の多様化が見られる。

### 【課題】

- 全国的にも知名度が高く、利用者数は増加傾向にあり、一部エリアや季節におけるオーバーユース等による自然環境への負荷や快適性の低下が懸念される。
- 近年になってシカの生息が確認され、今後、密度が高くなった場合には影響が懸念される。また、アライグマの生息による生態系への影響が懸念される。
- 年間多くの登山事故が発生している。
- 都市の公園として訪れる人と登山対象として訪れる人が共存しており、求められる安全のレベル等に幅がある。
- 多様な主体による様々な事業が実施されており、エリアの目指すべき将来像の共有が必要である。

高尾ビジターセンター



自然や歴史の解説、登山道の案内や見所紹介に加え、ガイドウォークや自然教室などを開催し、高尾山の自然や歴史、人と自然との関わりなどに関する情報を提供しています。

I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・ 多様な主体との連携により豊かな自然環境や景観が保全されている

II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・ 歴史的・文化的風致景観が保全・活用されている

III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ 多様な利用者の快適で安全な利用が進んでいる
- ・ 多様な主体との連携により、自然環境保全に関する情報発信・普及啓発や環境学習の推進の拠点となっている



《利用者でにぎわう高尾山山頂》



《大見晴園地トイレ》

《利用者の増加による環境影響や安全確保等の課題解消》

## 5 都立滝山自然公園

指定年月日：昭和 25 年 11 月 7 日

面積：661 ha

概要：滝山自然公園は、多摩川と秋川の合流点の南側に広がる標高 200m の滝山丘陵（加住北丘陵）の大部分を占めています。自然公園内にはコナラなどの雑木林が多く、また都立滝山公園には約 5,000 本の桜が植えられ花見の名所となっています。



《滝山公園から秋川の眺望》



《自然公園位置図》



《滝山城跡》



## 特徴

### 【自然資源】

- ・ 関東山地から平野部に向かって伸びる加住丘陵（滝山丘陵）の東端部に位置する。
- ・ 多摩川に接した北側では数十メートルの断崖が切り立っている様子が見られる。
- ・ 尾根から眺める秋川、多摩川の良好な自然景観が見られる。
- ・ 自然公園に隣接して農地が広がり、河川や森林等と一体となった農村景観を形成している。

### 【人文資源】

- ・ 全国的に見ても、大規模で良好に残る国指定の史跡である滝山城跡等の史跡がある。
- ・ 八高線小宮駅から五日市線東秋留駅方面にハイキングコースが整備されており、人の手により維持されてきた里山の自然を観察することができる。

### 【その他】

- ・ 地種区分が設定されておらず、全域普通地域扱いとなっている。
- ・ 滝山公園、滝山城跡等の桜が有名であり、多数の観光客が来訪する。

### 【課題】

- ・ 滝山公園、滝山城跡等のスポットと連携した自然公園の利用が進んでいない。

滝山公園（滝山城跡）



多摩川と秋川の合流点の南側に広がる加住丘陵にあり、古くからハイキングコースとして親しまれています。

## 目指す姿

### I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・ 他の自然公園や都立公園等と連携した自然環境保全活動が進んでいる
- ・ 周辺の農地や河川と一体となった農村景観が保全されている

### II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・ 歴史的史跡（滝山城跡）等を活用し、自然と結び付いた文化や歴史が広く認識されている

### III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ 滝山公園や滝山城跡等の観光スポットを活用した利用が進み、知名度が向上している

## 6 都立高尾陣場自然公園

指定年月日：昭和 25 年 11 月 23 日

面積：4,403 ha

概要：高尾陣場自然公園は、明治の森高尾国定公園を取り巻くように指定されており、両公園は一体として利用・管理されています。陣場山から景信山を経て小仏峠に至る都県境の山地帯、八王子城跡のある城山、北条氏照墓のある丘陵部、浅川周辺など自然の景観と史跡に恵まれています。



《陣場山山頂からの眺望》



《自然公園位置図》



《タカオヒゴタイ》



## 特徴

### 【自然資源】

- ・低山帯ながら起伏に富んだ山々・水系による多種多様な景観が見られる。
- ・陣場山等の良好な自然環境・景観が見られる。
- ・神奈川県立自然公園と隣接している。

### 【人文資源】

- ・八王子城跡や北条氏照墓等の史跡を有する。
- ・夕やけ小やけふれあいの里、高尾 599 ミュージアム、多摩森林科学園、高尾梅郷等多くの施設がある。

### 【その他】

- ・地種区分は特別地域が約 3 割で、普通地域が多い。
- ・交通アクセスが良好である。
- ・利用者の多い明治の森高尾国定公園と連続している。

### 【課題】

- ・連続する明治の森高尾国定公園の多くの利用者の分散利用が望まれる。
- ・一部エリアではオーバーユースによる自然環境への影響が顕在化しつつある。

八王子城址



北条氏の本城である小田原城の支城であり、国の史跡や日本 100 名城に選ばれています。

高尾梅郷



旧甲州街道と小仏川に沿って点在している梅林と梅の木を総称して呼ばれています。白梅・紅梅約 10,000 本で、見頃は、3 月中旬です。

## 目指す姿

### I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・隣接する自然公園を含む多様な主体との連携により豊かな自然環境が保全されている

### II 人と自然との関係をとりにつ自然公園

- ・歴史的・文化的な風致・景観が保全されている

### III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・隣接する自然公園との連携により快適で安全かつ適正な利用が進んでいる
- ・自然保護の普及啓発や、環境学習の場としての利用が進んでいる

## 7 都立多摩丘陵自然公園

指定年月日：昭和 25 年 11 月 23 日

面積：1,959 ha

概要：多摩川南岸の丘陵に広がる自然公園です。北側は多摩川沿いの平地に臨み、高尾、奥多摩、秩父の山間の良好な景観が望めます。都立桜ヶ丘公園を東端に、百草園、高幡不動尊、都立多摩動物公園、都立平山城址公園、都立長沼公園などを含みます。



《長沼公園内の雑木林》



《自然公園位置図》



## 特徴

### 【自然資源】

- ・多摩丘陵部から豊富な湧水が見られ、浅川・大栗川の水源となっている。
- ・高尾、奥多摩、秩父の山々の眺望等が良い。
- ・エリアー帯は市街化が進んでおり、都市公園や特別緑地保全地区などにより丘陵地の自然が残されている。

### 【人文資源】

- ・高幡不動尊や平山城址、旧多摩聖蹟記念館など歴史的・文化的な資源も豊富である。

### 【その他】

- ・地種区分が設定されておらず、全域普通地域扱いとなっている。
- ・新住宅市街地開発事業区域と一部重複している。
- ・交通アクセスが良好である。

### 【課題】

- ・都立多摩動物公園周辺部の良好な民有緑地に、都市化・宅地化の波が押し寄せている。
- ・良好な樹林地の維持保全が地権者頼りとなっている。

長沼公園



多摩丘陵の北斜面にあり、早春から夏にかけて順に花が咲いてゆく変化に富んだ風景を楽しむことができます。

旧多摩聖蹟記念館



桜ヶ丘公園にある、明治天皇の行幸を記念して建てられた洋風建築で、多摩市管理・市指定文化財、東京都景観上重要な歴史的建造物となっています。

## 目指す姿

### I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・都市公園、特別緑地保全地区等の緑地と連携し、残された自然環境の連続性を考慮して環境が保全されている

### II 人と自然との関係をとirimott自然公園

- ・都市的土地利用と自然環境の保全とが両立している

### III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・既存のハイキングルート等を活用した身近な自然としての利用が進んでいる
- ・隣接する浅川・大栗川の水源地や、都立公園等において都民協働による維持管理・環境学習活動が行われている

## 8 都立狭山自然公園

指定年月日：昭和 26 年 3 月 9 日

面積：775 ha

概要：武蔵野台地の一角に緑が浮かぶように位置する自然公園です。北側は埼玉県との境になっています。箱根ヶ崎から東村山にかけて三条の尾根と二条の溪谷が走っており、中央の丘陵には村山、山口の2つの貯水池、その周辺は貯水池林となっています。貯水池の周辺は、桜の名所となっています。



《貯水池にある取水塔》



《自然公園位置図》



《谷戸の景観》



## 特徴

### 【自然資源】

- ・村山貯水池とそれを取り巻く豊かな森林を有する。
- ・埼玉県立自然公園と隣接し、島状に緑が残存している。
- ・周辺は市街化が進んでおり、丘陵地の自然は都市公園や首都圏近郊緑地保全区域などで残されている。

### 【人文資源】

- ・土木遺産である取水塔等の文化資源も見られる。
- ・かつては薪炭林として利用され、人の手により維持されてきた里山環境が広がる。

### 【その他】

- ・地種区分が設定されておらず、全域普通地域扱いとなっている。
- ・多摩湖周辺の桜も有名であり、利用者も多い。

### 【課題】

- ・残された里山環境の保全と都市公園と連携した利用の促進の両立が望まれる。



狭山丘陵

多摩湖の南にあり、狭山丘陵では最も美しい雑木林の残る場所です。市民団体が自然観察や植生の調査を行ったり、公園管理者と意見交換しながら雑木林の手入れに取り組む等、里山保全活動が実施されています。

野山北・六道山公園



都立公園の中で最大の広さを誇る丘陵地公園で、自然観察をはじめ、里山体験イベントや、四季折々のハイキングなど幅広く楽しめます。

## 目指す姿

### I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・ 多様な主体（都立公園等）と連携して自然環境が保全されている

### II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・ 多様な主体（都立公園等）との連携によって、里山文化が地域に定着している

### III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ 里山の自然と文化に関する環境教育の場として活発に利用されている
- ・ 貯水池林、都立公園などの緑とのふれあいの場の活用が進んでいる

## 9 都立羽村草花丘陵自然公園

指定年月日：昭和 28 年 3 月 15 日

面積：553 ha

概要：多摩川沿いに帯状に展開する丘陵の東端にあたり、こんもりした森のように見える大澄山、浅間岳等があります。多摩川に沿って桜堤やチューリップ畑などの見所もあり、河原には希少な植物も生育しています。



《浅間岳からの多摩川の眺望》



《自然公園位置図》



《多摩川の河川敷》



《玉川兄弟像》



## 特徴

### 【自然資源】

- ・多摩川本流を含み標高 200m～300m の丘陵地を主体としている。
- ・丘陵の尾根沿いのハイキングコースからは関東平野の良好な眺望を有する。

### 【人文資源】

- ・土木遺産である羽村取水堰（投渡堰）や慈勝寺のモッコク、寺社等の歴史的・文化的な資源が豊富である。

### 【その他】

- ・地種区分が設定されておらず、全域普通地域扱いとなっている。
- ・羽村取水堰周辺は桜の名所となっており、様々な催し物が開催され外国人観光客を含め、多くの利用が見られる。

### 【課題】

- ・多摩川の豊かな自然環境と、周辺の豊富な歴史的・文化的な資源を活用した利用の促進が望まれる。

羽村取水堰（投渡堰）



江戸時代に開削された玉川上水の取水口として設置され、現在もここから取水されており、土木遺産に認定されています。

玉川上水の桜



玉川上水沿いに約 200 本の桜があり、国土交通省の「多摩川八景」「多摩川 50 景」、多摩川夢の桜街道の「八十八ヶ所 桜の札所めぐり」に選ばれています。

## 目指す姿

### I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・多摩川を中心として自然環境が保全されている

### II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・羽村取水堰等により、多摩川の自然と結びついた文化や歴史の価値が再認識されている

### III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ボランティア団体らと連携して里山が管理されている
- ・多摩川を中心とした自然環境が安全で快適に回遊利用されている

## 10 都立秋川丘陵自然公園

指定年月日：昭和 28 年 10 月 1 日

面積：1,335 ha

概要：秋川右岸の丘陵地帯にあり、東側は滝山自然公園、西側は秩父多摩甲斐国立公園に接しています。秋川の渓谷美や穏やかな流れ、丘陵地には戸倉城山、広徳寺、今熊山、小峰公園、弁天山などにハイキングコースがあります。



《金剛の滝》



《自然公園位置図》



《今熊神社》



## 特徴

### 【自然資源】

- ・ 秋川右岸の丘陵地帯にあり、300m 程度の丘陵が 12km ほど連続している。
- ・ 落葉樹林と植林で覆われ、山の間から多くの谷が出ており谷戸を形成している。
- ・ 秋川右岸の丘陵地や秋川溪谷の自然が見られる。
- ・ 都立滝山自然公園、秩父多摩甲斐国立公園に隣接している。

### 【人文資源】

- ・ 都立小峰公園や小峰ビジターセンターが位置し、自然体験教室、谷戸田の稲作等の利用が見られる。
- ・ 貴志嶋神社、網代城山、今熊神社等の歴史的・文化的な資源が見られる。

### 【その他】

- ・ 地種区分が設定されておらず、全域普通地域扱いとなっている。
- ・ バーベキューや川遊びなど河川の盛んな利用がある。

### 【課題】

- ・ バーベキュー等の河川利用者へ、自然体験や歴史・文化の魅力を伝えていくことが望まれる。

小峰公園



自然とのふれあいをテーマに、自然観察ができる公園で、ビジターセンターも設置されています。

秋川



山々の美しい緑と溪流のせせらぎを楽しめます。広い河川敷を利用したバーベキュー場等も整備されています。

## 目指す姿

### I 多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園

- ・ 隣接する自然公園と一体となって環境が保全されている

### II 人と自然との関係をとりもつ自然公園

- ・ 秋川の自然環境を活かした適切な河川利用が広がっている

### III 誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園

- ・ 隣接する自然公園との連携や、都立小峰公園の活用により、活発に環境教育等に利用されている
- ・ 河川が観光資源として適切に利用されている